



あさみ たけし
浅見武志 議員

福祉

老人福祉センターの名称の変更を

「私の視点」

老人福祉センターの名称を変更して、高齢者だけではなく、子供や町民全体の憩いの場所にすべきである。

答弁（町長） 早いうちに変更したい

問 老人福祉センターの名称を変更して、高齢者だけではなく、子供や町民全体の憩いの場所にする考えはないか。

答（町長） 令和7年4月より指定管理者となる団体からは、多世代交流・地域交流事業について創意工夫のある提案があった。指定管理者が行う事業を通じて、多世代交流・地域交流事業を行いながら、老人福祉センターの円滑な運営に、より一層努めていく。

また、名称はできるだけ早いうちに変更したいと考えている。

問 老人福祉センターのお湯を使って、たくさんの人が楽しめる足湯をつくる考えはないか。

答（町長） 現時点において、足湯を建設することは考えていない。しかし、社会を取り巻く現状や状況、変化等を考慮し、令和12年以降に実施される予定の大規模改修の際に、長寿命化やバリアフリー化及び足湯の建設等も含め、様々な角度から総合的に検討していくことも視野に入れていかなければならないと考えている。

こんな質問もしています
・たまむら花火大会について

玉村まつり（祇園祭）

問 玉村まつりの提灯と放送設備について、支援を行う考えはないか。

答（教育長） 町民をはじめ多数の来訪者が見込まれる祇園祭を、より安心・安全な環境で実施していけるよう、警備体制の充実方法や補助金の活用方法等について、検討していきたいと考えている。

問 祭り後、ごみが私有地に捨ててあったりした。ごみのコンテナを設置する考えはないか。

答（教育長） 町経済産業課により、商工会館近くにごみコンテナを1台設置したが、私有地への侵入禁止やごみの捨て方の周知については、まずは祭りを主催する地元で徹底していただいた上で、町教育委員会としても、どのような協力ができるかを模索していきたいと思っている。



愛着の持てる名称を期待。全町民の憩いの場所に



つ き だ ひ と し
月田 均 議員

環境

小学生のときの三本松の記憶は

「私の視点」

五料の三本松、3年ほど前に植樹したが、鹿の被害にあい、今年1本が枯れてしまった。かつて芝根小学校の1年生歓迎会が行われた思い出深い場所。対策を求む。

答弁（町長） 自然の大切さ、歴史への思いを感じた

問 森林環境譲与税は、国土の保全、地球温暖化防止などの目的に譲与されているものだが、どのような事業に使われたか。

答（町長） 五料地区の三本松の植樹をはじめ、玉村・上陽小学校における木製ベンチの改修、出生時における木製フォトフレームの贈呈等がある。

問 3年ほど前に三本松の植樹が行われ「よかった」との声が出ていた。しかし、鹿が松の枝を折ったり、幹の皮をはいだりしてしまい、対策として松の周りに金網を付けたものの、北側の1本は被害が大きく、残念なことに今年枯れてしまった。三本松のあった場所は、かつて芝根小学校の1年生歓迎会が行われた場所である。町長、記憶はあるか。

答（町長） 60年ほど前になるが、覚えている。芝根小学校から土手を歩いて、カーブのところにある三本松の所に行った。楽しかった。自然を大事にすること、そこには石仏もあり、その地域の歴史への思い、子供ながらにいろいろ感じたことを思い出す。

問 私も全く同じ気持ちである。その1本が枯れてしまった。対策はできるか。

答（都市建設課長） 現地を確認し、考えさせてもらう。

浄水処理の新方式 無薬注方式

問 現在は次亜塩素酸を酸化剤として使用し、地下水に含まれている鉄、マンガンを除去してい

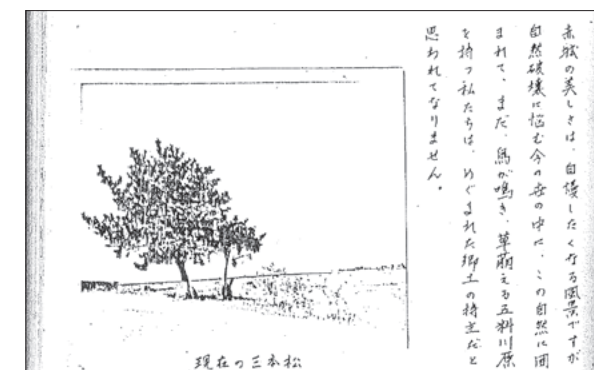
るが、これに対し、水質改善を目的として次亜塩素酸を使用しない「無薬注方式」の実証実験を行っていると思う。この方式はどのようなものなのか。実証実験の結果はどうか。

答（町長） 現在の処理方法は、塩素処理をした後、マンガン砂を「ろ材」として「ろ過」を行い、接触酸化により除去を行っている。これに対し無薬注方式とは、地下水の中に生息する微生物の沈着浄化作用を利用し、薬品を使用せずに処理を行う方法である。

実証実験の結果は、水道法水質基準51項目全てにおいて水道法の基準に適合しており、安定的な処理が確認されている。

こんな質問もしています

- ・内水氾濫への対応は十分か
- ・利根川河川改修事業について



五料川原に関する古い資料を読みながら、遠い昔に思いを馳せる